

g f ° q`

w%^a ; f L t » e —¿ \

< > MJ I 7 B K 8 h " * 1 4 : MJ A @ K C J ® k q -

スチールライニング工法による シールドトンネル補強技術*

川崎製鉄技報
34 (2002) 1, 29-34

Steel Lining Method for Shield Tunnel Reinforcement

川崎製鉄株式会社 建設部 橋本 隆夫

〒103-8355 東京都中央区新富1丁目1番1号

TEL 03-3541-2111

いる。

前記の大阪市における現場施工では、とう道の内径 3 950 mm に対し、鋼管セグメント寸法は $3\ 850\phi \times 25\ t \times 3\ 000\ L$ 、補強後の内径は 3 800 mm となっている。すなわち、内空寸法の減少を 150 mm (内径比率 99%) に抑えてトンネルの耐荷重特性向上に

鋼管セグメントは、弾性範囲内で縮径してとう道内を運搬後、フランジをボルトで締結して円形断面に復元し、差込継手により連結する。

2.3 施工手順

2.1.2 活線状態での安全、かつ高速施工

Fig. 3 のようになる。





